

第2学年 国語科学習指導案

令和元年9月11日(水) 6校時

2年2組 児童28名 指導者 片岡真梨奈

1 単元名 お気に入りの本をしょうかいしよう

「たからものをしょうかいしよう」(東京書籍2年上)

2 単元について

(1) 児童観

児童は、1年生の「はなしたいなききたいな」の単元で、夏休みの思い出をみんなの前で話し、聞き手は質問や感想を述べることを学習している。2年生1学期では「ことばで絵をつたえよう」の単元で、絵の描き方を説明するという言語活動を通して、聞き手に手順が正しく伝わるように、大事な事柄を順序立てて話すことを学習した。児童の多くは、絵の描き方を、その絵を見ていない相手に説明することへの意欲が高く、自分の言葉で積極的に話そうとしていた。しかし、様子が伝わるように言葉を選んだり、説明を落とさないように話したりすることが、難しいと感じる児童が多く見られた。

また、「まよい犬をさがそう」の単元では、犬の特徴を聞いて、絵の中から当てはまる犬を見つけるという学習をした。ゲームのような楽しさがあり、児童は積極的に活動に取り組むことができた。犬の特徴を聞き取り、覚えていないと当てはまる犬を見つけることができないため、集中して聞こうとする児童が多く見られた。しかし、普段の生活の中で、説明や連絡などを正しく聞き取れていない児童も見られるため、学習を終えた後も、さまざまな場面で聞く力を身に付けさせるための指導を重ねている。

「話すこと・聞くこと」は、学習の基盤である。頑張って発表したことがしっかりと相手に受け入れられ、話したことへの達成感を伴う場となるようにしていくことが大切である。伝えたい思いや、聞いてくれる喜びがあつてこそ、児童の力が発揮されるものである。本学級の児童は、話すことが好きな児童が多いが、どのように話をしたらよいかが分からずに言葉に詰まったり、言いたいことがまとまらず何を伝えたいかがよく分からなかったりする児童も見られる。また、聞き方においても、最後まで集中して話を聞くことや感想や質問をもって聞くことにも課題が見られる。この単元の学習を通して、表現する喜び、伝わった喜びを味わわせ、言葉と関わり続ける学び手を育てたいと考える。

(2) 単元観

本単元「お気に入りの本をしょうかいしよう」は、話す事柄を考えて、順序よく話す力と大事なことを落とさないように興味をもって聞く力をつけることをねらいとする。話し手は、相手に伝わるように話す内容と組み立てに気をつけ、聞き手は、感想をもちながら聞くことや質問することを身につけさせるために適した教材である。

本単元ではお気に入りの本を友達や1年生に紹介するという活動を設定している。児童は、日頃から本が大好きで、図書館や学級の本を意欲的に読んだり、読み聞かせなどで多くの本と触れ

合ったりする機会が日常の生活の中で多くある。自分のお気に入りの本をクラスの友達や1年生に紹介することは、話すことが好きな児童が多い本学級の児童にとっては興味を持って取り組みやすい教材であり、「この本を知ってほしい」「みんなも読んでくれるといいなあ」という、話す意欲を高めることに繋がると考えられる。また同時に「友達はどんな本が好きだろう」と、友達の紹介にも関心をもち、聞くことも楽しみにすることに繋がると考えられる。しかし、紹介するためには話す事柄を考えて、観点をしぼって話す必要があるため、共通教材「ともだちや」を通して学習し、自分のお気に入りの本の紹介の仕方を学んでいけるように取り組んでいきたい。

(3) 指導観

本単元の重点指導事項は、学習指導要領におけるA話すこと・聞くこと(1)ア「紹介したい本の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいくこと。」である。また、単元の言語活動として、自分のお気に入りの本について友達や1年生に紹介するという活動を設定した。

第一次では、図書館の先生から本の借り換えに来る人が減っているため、たくさんの人に本を読んでもらうために力を貸してほしいという依頼があったことから、自分のお気に入りの本を紹介するために紹介カードを書いて伝えたいというきっかけづくりをする。そして、教師が作った紹介文のバッドモデルから、お気に入りの本を紹介するためには「登場人物」や「話の内容」「お気に入りのところ」の3つの事柄が必要であることを学習する。友達や1年生にお気に入りの本を紹介することと、その後に図書館に紹介カードを掲示するというゴールを確かめ、意欲をもって学習を進めることができるようにしたい。

第二次では、第一次で学んだ紹介文を書く際には、「登場人物」「話の内容」「お気に入りのところ」の3つの事柄が必要であったことを確認しながら、どのように書き、紹介したらよいかを共通教材「ともだちや」で学習し、その後紹介したい自分の選んだ本に立ち返って書き、話すことを繰り返しながら学習を進めていく。その際に、みんなに読んでもらうためにはどうしたらよいかを意識させながらカードを作らせたい。「話の内容」と「お気に入りのところ」においては30文字程度で短く簡単にメモを書き、話す際には「わたし・ぼくは」や「～です」などをつけて丁寧な言葉で話すことを指導する。

第三次では、第二次での活動をもとに、自分のお気に入りの本を、まず友達に紹介する活動を行う。その際、話し手と聞き手が意識し合い、聞き手には必ず感想を伝えることや質問をすることを指導し、意欲的に聞けるようにさせたい。そして、1年生に紹介を行い、学習の振り返りをして、本単元のまとめをする。また、第二次での自分の本の紹介を、紹介カードとして完成させたものを図書館のお知らせコーナーに掲示し、他の学年にも広げていきたいと考えている。最後の単元の振り返り際には、聞き手に伝わるように話したり、話を聞き逃さないように集中して友達の話を聞いたりすることができたかを話し合い、今後の生活や学習の中でも生かしていこうとする意欲を持たせたい。

本時は、お気に入りのところの紹介の仕方を共通教材「ともだちや」で学習し、自分で選んだ紹介したい本に立ち返って書くことで理解を深めていく。そして、お気に入りの事柄にはいくつかの観点が、その中から1つ選んで30文字程度で短く簡単にメモを書く学習を進めていく。今まで字数制限の中で自分の思いを書く経験がないため、日ごろの学習の振り返り等でも字数を指定し書く練習をしていくようにする。児童から出された意見を「会話文」「挿絵」「内容」などに分けることで、自分の紹介したい本のカードを書く際の観点を持たせるようにしたい。また友達に紹介する際には、聞いている人に伝わるようにするために、話すときに気を付けることを確認し、聞き手には簡単な質問をさせ、第三次の発表会のイメージももたせたい。

3 単元の目標

- お気に入りの本を紹介するために、話す事柄を考えて、順序よく話すことができる。
- 話し手が伝えたい大事なことを落とさずに、興味を持って聞くことができる。

～はりまや橋小学校「学校図書館の活動を通して付けたい力系統表」より～
【情報の表現・伝達】 相手や目的に対して、適切な方法について知り伝える。

4 重点指導事項

【A（1）ア】 紹介したい本を決め、紹介するために必要な事柄を考え選ぶこと。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現 【A 話すこと・聞くこと】	主体的に学習に取り組む態度
○友達や1年生に「お気に入りの本」を紹介するために、姿勢や声の大きさ、速さなどに注意をして、話している。 【(1)イ】	○紹介したい本を決め、紹介するために必要な事柄を考え、選んでいる。 【(1)ア】 ○友達の発表に興味をもち、大事なことを落とさないように聞き、話の内容に基づいた感想や質問をしている。 【(1)エ】	○1年生に自分の「お気に入りの本」を読みたいと思ってもらえるように、話す事柄を見つけてメモに書き、話す内容や話し方に気をつけて話そうとしている。

6 学習指導計画（全9時間）

次	時	学習内容	評価			
			知・技	思判表	態	評価規準【評価方法】
一	1	○学習の見通しを立てる。 ・教師の紹介文を聞き、お気に入りの本を紹介する時に必要な「中」に書く事柄について考える。 登場人物 お気に入りのところ 話の内容		○		お気に入りの本を紹介するために、相手に伝わるように話す事柄を考えている。 【行動観察・発言】
二	2 ・3	○「ともだちや」を紹介するために登場人物・話の内容について考える。 ・自分の紹介したい本で考え、メモを書く。 ・話し手として意識すること（話し方）を考える。 ・メモをもとに友達と伝え合う。		○		お気に入りの本について、どのような話なのかを30字程度でメモに書き、友達に話している。 【ノート・行動観察】
	4 (本時)	○「ともだちや」のお気に入りのところを紹介するための観点を考える。 会話文 挿絵 内容 ・自分の紹介したい本で考え、観点から1つ選んでメモを書く。 ・メモをもとに友達と伝え合う。		○		お気に入りのところを紹介する観点を考え、その観点から1つ選んでメモを書き友達に話している。 【ノート・行動観察】

二	5	○「ともだちや」の紹介文の「はじめ」「終わり」を考える。 ・自分の紹介したい本で考え、メモを書く。 ・メモをもとに友達と伝え合う。	○	紹介文の「始め」「終り」に必要な表現をメモに付け足し、友達に話している。 【ノート・行動観察】
	6	○スピーチの練習をする。 ・話し手として意識することを確認する。 ゆっくり話す 大きな声で話す はっきりした声で話す ・スピーチ練習をし、友達とアドバイスをし合う。	○	お気に入りの本を紹介するために、姿勢や声の大きさ速さなどに注意をして、話している。 【行動観察・発言】
三	7 ・8	○紹介カードを仕上げ、友達にお気に入りの本を紹介する。 ・聞き手として意識することを考える。 感想を言う 質問をする「どうして」「どうやって」「だれが」「何が」	○	友達の発表に興味をもち、大事なところを落とさないように聞き、話の内容に基づいた感想や質問をしている。 【行動観察・発言】
	9	○1年生にお気に入りの本を紹介する。 ○単元の振り返りをする。	○	1年生が自分の選んだ本を読みたいと思ってもらえるように話す内容や話し方に気をつけて話している。 単元を通して学んだことを振り返ることができている。 【行動観察・ノート】

7 本時の学習（本時4／9）

(1) 本時の目標

○お気に入りのところを紹介する観点を考え、その観点から1つ選んで話すことができる。

(2) 本時の評価規準

話・聞お気に入りのところを紹介する観点を考え、その観点から1つ選んでメモを書き、友達に話している。

(3) 達成基準（ループリック）

A	B
自分の本の気に入っているところについて紹介する観点を1つ選び、その理由を話している。 「ぼくのおきにいいところは、～が～しているところです。わけは、～からです。」	自分の本の気に入っているところについて紹介する観点を1つ選んで話している。 「ぼくのおきにいいところは、～が～しているところです。」

(4) 準備物

「ともだちや」の本、紹介したい本

(5) 本時の展開

	主な学習活動〔学習形態〕 ・予想される児童の反応	○指示・支援 □評価規準【評価方法】 ★支援を要する児童への手立て
つかむ⑤	1 前時までに学習した「ともだちや」の登場人物と内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">お気に入りのところは、どうしようかいたらいいのかな？</div>	
考えを持つ③⑩	2 「ともだちや」のお気に入りのところを考える。 ○自分が気に入った場面を選ぶ。 ・きつねの表情がおもしろいところ ・友達がほしくてともだちやをはじめたところ ・さいごにはおおかみという本当の友達できたところ ・「ま、まいど、ありーい」 3 出された意見を仲間に分け、名前をつける。(観点を見付ける) ・会話文 ・挿絵 ・内容 4 自分の紹介したい本で気に入っているところを考える。 ・30字程度で書く。	○自分が気に入った場面を選ばせ、なぜお気に入りなのかを話させる。 ★数人に自分のお気に入りのところを発表させ、お気に入りの探しやすいようにさせる。 ○児童からでたお気に入りのところをグルーピングしながら板書し、それぞれのグループはどのような観点なのかを考えさせる。 ○みんなで考えた観点の中から、1つの観点にしぼって気に入っているところを見つけるようにさせる。
学びあう⑤	5 書いたことをもとに友達と紹介し合う。 ○「お気に入りのところ」を友達に話す。 ○「どうして、お気に入りなの？」という、聞き手の質問に応える。	□A: 自分の本の気に入っているところについて紹介する観点を1つ選び、その理由を話している。 B: 自分の本の気に入っているところについて紹介する観点を1つ選び話している。
まとめる・振り返る⑤	6 振り返りをする。	★「わかったこと」「できるようになったこと」について書くことを伝える。

(6) 板書計画

<p>お気に入りの本をしようかいしよう</p> <p>④お気に入りのところはどのようにかいいたらいいのかな？</p>	<p>ともだちや</p> <p>さし絵</p>	<p>会話文</p> <p>ないよう</p>	<p>じぶんの本</p> <p>さし絵</p> <p>が が している絵</p> <p>会話文</p> <p>が が と言ったこと</p> <p>ないよう</p> <p>が が しているところ</p>	<p>話す人</p> <ul style="list-style-type: none">・大きなこえで話す。・ゆっくり、はっきり話す。・あい手を見て話す。 <p>聞く人（しつもん）</p> <ul style="list-style-type: none">・「どうして、お気に入りのの。」	<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none">・話のないうよう・話すときは…・さしえ・聞く人はしつもんをする・会話文 を話す
--	-------------------------	------------------------	--	--	--

— つえらんでしようかいする

(7) 評価の視点（はりまや橋小学校授業作りスタンダードより）

- ① つけたい力が身についた問題・活動内容
- ② 問題解決に至る明確な道筋・ゴール
- ③ 目標達成に向けてつながりと一貫性のある展開・指導
- ④ 対話と協働が学びに効果的に働く学習活動（本時重点目標）
- ⑤ 自己変容を目標に沿って認知できる評価活動